別紙1

児童通所支援の利用にかかる調査票

（ 乳幼児等サポート調査 ・ 就学児サポート調査 ）

記入日	年　月　日	参考事項	1 療育手帳　な し ・ あ り　等級（ A ・ B ）
記入者氏名			2 精神保健福祉手帳　な し ・ あ り　等級（ 1 ・ 2 ・ 3 ）
児童との続柄（関係）			3 身体障害者手帳　な し ・ あ り　障害名（ ） 等 級（ ）
電話番号			4 医療的ケア（4ページ参照）　な し ・ あ り
児童氏名			5 相談した相談支援専門員または児童発達支援・放課後等デイサービス事業者
児童生年月日 ※年齢は記入日時点の年齢	年　月　日（　歳）		事業所名 電話番号（ ）　担当者名（ ）

最近のご様子について、【区分】欄の①～⑤の近い状態を表すものに○を、【具体的な様子】欄に状況をご記入ください。
※1 [乳幼児等サポート調査]の場合、通常の発達の範囲かどうかは問わないものとします。
※2 児童の状態は、適切な支援や環境が整っていない状況を想定して判断してください。（例：保護者や慣れている支援者がいない状況、初めての場所等）
※3「できる時とできない時がある場合」は、「できない場合」に基づき判断してください。

	【番号】	【項目】	【区分】	【具体的な様子】	【例】
2-1	1	**食事** （食事・飲み物を口に運ぶ、小さく食べやすくする等）	① 全介助 ② 一部介助 ③ 介助なし		食事は自立しているが、魚をほぐす、小さく切るなどの支援が必要
2-4 2-5	2	**排せつ** （尿意便意の伝達、服の上げ下げ、拭き取り等）	① 全介助 ② 一部介助 ③ 介助なし		自分でトイレには行けるが、便のふき取りが不十分であり、支援が必要
2-3	3	**入浴** （身体や髪を洗う、着替え等）	① 全介助 ② 一部介助 ③ 介助なし		一人で入浴するが、洗髪や体を洗うことが十分でないため、声掛け（やり直し）している
1-9	4	**移動** （家の中の移動、学校等への移動・外出等）	① 全介助 ② 一部介助 ③ 介助なし		一人で外出（移動）できるが、転倒・突発的な行動を防ぐため手をつなぐ、付き添うといった支援が必要

裏面もご記入ください。

	【番号】	【項目】	【区分】			【具体的な様子】	【例】
4-7	児⑤ 放③	**大声・奇声を出す** （周囲に迷惑となる大声、奇声、音を出す）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		人の多いデパートに長時間いると、大声を上げる。高頻度でないが、体調の悪い時には家にかえるまで落ち着かない。
4-19	児⑤ 放⑤	**多動・行動停止** （特定の物や人への興味関心が強く、制すると多動やこだわって動かなくなる）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		外出中、気になる物や、興味のあるキャラクターを見つけるとその場から動かない。注意するが気が済むまで落ち着かない。
4-20	児⑤ 放⑥	**不安定な行動** （日頃慣れている人、状況が変わることが受け入れられず興奮、パニック状態になる、不安恐怖等のため衝動的行動がある）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		日ごろ慣れている支援者でないと、いうことを聞かずパニックになる。事前に伝えておくと納得するが、急な変化に対応できないことが多い。
4-24	児⑤ 放⑩	**突発的な行動** （特定の物や人を見つけたら、突然走り出すなど、突発的な行動がある、症状がでないよう環境工夫がある）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		気になるポスターや、キャラクターのおもちゃがあると車や人がいても走り出そうとするため、屋外では手を繋ぎ、常に危険がないように見守っている。
	児⑤ 放⑥	**てんかん発作**	① ない（支援不要）	② 経過観察あり	③ てんかんの診断あり(薬の服用状況の確認を常に行っている)		ここひと月は服薬を中止しているが、発作は出ていない。
4-16	児⑥ 放④	**異食行動** （食べられないものを口に入れる、飲みこむ、異食しないよう環境工夫がある）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		何でも口に入れるため異食しそうなものを周囲に置かないよう工夫している。
4-25	児⑥ 放⑪	**過食・反すう等** （過食、過飲、拒食、反すう、極度な偏食など、食に関する特別な配慮がある）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		外食時には食べ過ぎてしまい、吐いてしまうことがあるが、自宅ではほとんどない。
4-4	児⑥	**昼夜逆転** （睡眠）	① ない（支援不要）	② 週に1回以上ある	③ ほぼ毎日（週5日以上）ある		睡眠リズムが崩れやすい。夜泣き、夜驚への対応が必要である。
4-21	児⑦ 放⑦	**自らを傷つける行為** （自分を叩く、髪を抜く、頭を床に打ち付けるなど）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		怒られた時にパニックになり、自分の頭を叩くことは多いが、怪我をしてしまうことはない。
4-22	児⑦ 放⑧	**他人を傷つける行為** （他人を叩く、髪を引っ張る、蹴る、器物破損などで他傷につながる危険性がある、相手を侮辱したりする）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		疲れやストレスが溜まっている様子があると、母の髪を手加減なく引っ張ったり、弟を傷が残るほど引っかいたりすることがある。
4-23	児⑦ 放⑨	**不適切な行為** （興味関心が優先したり、適切な意思表示ができなかったり、判断能力が不十分なために、急に他人に抱きつく、断りなくものを持ってきてしまう、他人を覗き込むなどがある）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある		公園で、人が利用している遊具で無理やり遊ぼうとするなど不適切な行動がある。

別紙2

【番号】	【項目】	【区分】			【具体的な様子】	【例】
4-26	児⑧ 放⑬	**そううつ状態** （気分がゆううつで悲観的になったり、思考力低下し考えがまとまらない、気分が高揚して次々と行動するが、注意散漫で失敗するなどして社会生活に影響する）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある	気分が高揚し過ぎることはよくあるが、うつ状態にはならない。
4-27	児⑨ 放⑭	**反復的行動** （ある考えに固執し特定の行動を繰り返す、儀式的な行為にとらわれ動作に時間がかかり、日常生活に支障がある）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある	寝る前には、いつもと同じアニメを見ないと眠れない。
4-28 4-33	児⑩ 放⑮	**対人面の不安緊張、集団生活への不適応** （人との関係で緊張状態になり、集団生活の場面に参加できなかったり、参加しても行動できない）	① ない（支援不要） ② まれにある ③ 月に1回以上ある	④ 週に1回以上ある	⑤ ほぼ毎日（週５日以上）ある （長期の引きこもり状態である場合含む）	母子会などで人に会うと緊張状態となるため、集団行動できない。 チックなどの身体症状があらわれる。
3-4	児⑩ 放②	**説明の理解** （他者からの説明が理解できるかどうか）	① 理解できる （返事、頷き、説明に伴った行動）	② 理解できない （説明に応じた行動ができないことがある）	③ 理解できているか判断できない	「物を取って」と指示を出すと理解し持ってくることができるが、慣れない場所では指示を聞くことが難しい。
3-3	児⑩ 放①	**コミュニケーション** （他者に対する自分の意思の伝達）	① 日常生活に支障がない	② 特定の人としか、コミュニケーションがとれない ③ 会話以外の方法でコミュニケーションできる（手話、筆談、メールなどで）	④ 行動でのみ自分の意思を伝えられる ⑤ コミュニケーションできない	会話は2，3語程度の単語で行われ、家族が問いかけると、「はい」「いいえ」の反応をする。 吃音がある。
3-5	児⑪ 放⑯	**読み書き** （文章を読む、書く）	① ひとりでできる（支援不要）	② 見守りや声掛けが必要 （パソコン等で書く手段がある場合含む）	③ 読み書きできない （点字等を使用する場合含む）	小学校低学年程度の漢字の読み書きは指示があればなんとか可能である。学校では他の児童と異なる配慮を受けて学習している。

西条市使用欄			個別サポート加算（Ⅰ）
児童発達支援 （3歳未満）	Ⅰ．日常生活動作	2項目未満 ・ 2項目以上	該当 ・ 非該当
児童発達支援 （3歳以上）	Ⅰ．日常生活動作	なし ・ 1項目以上	該当 ・ 非該当 かつ
	2．行動・精神症状	なし ・ 1項目以上	
放課後等デイサービス	Ⅰ．日常生活動作 全介助	3項目未満 ・ 3項目以上	該当 ・ 非該当 いずれか
	2．行動・精神症状	合計点数 （ ）点	
			年 月 日 判定者氏名

こちらの面は、医療的ケアを必要とする18歳未満のお子様のみ該当の調査です。
適切な支援の提供を受けるために、ご協力をお願いします。

○　医療的ケアを必要とする障害のある18歳未満のお子さんが、児童発達支援・放課後等デイサービス・短期入所（ショートステイ）といったサービスの利用を希望する場合、必要な医療的ケアや、見守りの必要性等を主治医に判定してもらい、その「判定スコア」を市町村等に提出する必要があります。
○　ただし、利用するサービスや、事業所が算定する報酬によっては、主治医による判定が不要な場合があるため、以下の項目を確認し、主治医に「判定スコア」を作成してもらう必要があるかどうかを確認してください。

Q1　利用するお子さんはNICU等から退院する予定又は退院してまもないですか？

1：いいえ　　2：はい

「1：いいえ」の場合

「2：はい」の場合

「判定スコア」が必要となる可能性があるため、
市役所担当窓口に連絡して確認してください。

Q2　利用を希望するサービスは以下のどれになりますか？

1：児童発達支援※　　2：放課後等デイサービス
（※医療型児童発達支援は含みません。）

3：短期入所※　　4：その他
（※重度障害者等包括支援で実施する場合を含みます。）

「4：その他」 だけに該当する場合

「判定スコア」の作成は不要です。

「1」「2」「3」のいずれかに該当する場合

Q3　サービスを利用するときに、下の1～14のいずれかの医療的ケアを受ける必要がありますか？

1　人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇的陽圧吸入法、排痰補助装置、高頻度胸壁振動装置を含む）の管理	
2　気管切開の管理	
3　鼻咽頭エアウェイの管理	
4　酸素療法	
5　吸引（口鼻腔・気管内吸引）	
6　ネブライザーの管理	
7　経管栄養	(1)　経鼻胃管、胃瘻、経鼻腸管、経胃瘻腸管、腸瘻、食道瘻
	(2)　持続経管注入ポンプ使用
8　中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬など）	
9 皮下注射	(1)　皮下注射（インスリン、麻薬など）
	(2)　持続皮下注射ポンプ使用
10　血糖測定（持続血糖測定器による血糖測定を含む）	
11　継続的な透析（血液透析、腹膜透析を含む）	
12　導尿	(1)　利用時間中の間欠的導尿
	(2)　持続的導尿（尿道留置カテーテル、膀胱瘻、腎瘻、尿路ストーマ）
13　排便管理	(1)　消化管ストーマ
	(2)　摘便、洗腸
	(3)　浣腸
14　痙攣時の 坐剤挿入、吸引、酸素投与、迷走神経刺激装置の作動等の処置 注）医師から発作時の対応として上記処置の指示があり、過去概ね1年以内に発作の既往がある場合	

1～14のいずれかに該当する場合

「判定スコア」が必要となる可能性があるため、
市役所担当窓口に連絡して確認してください。

1～14のいずれにも該当しない場合

「判定スコア」の作成は不要です。